

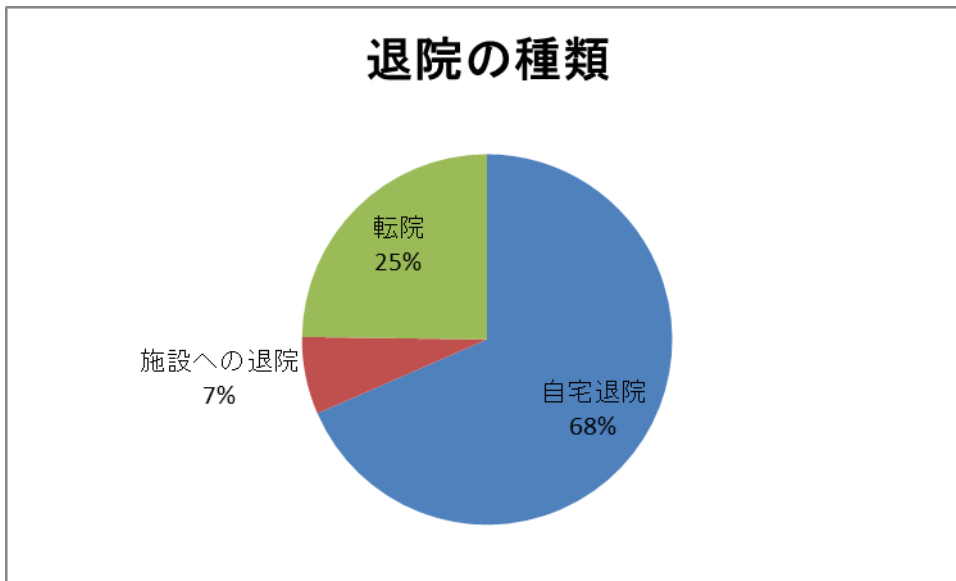
J-BADO 結果（2016 年 4 月～9 月）

※依存症病棟、医療観察法病棟を除く全病棟の新規入院

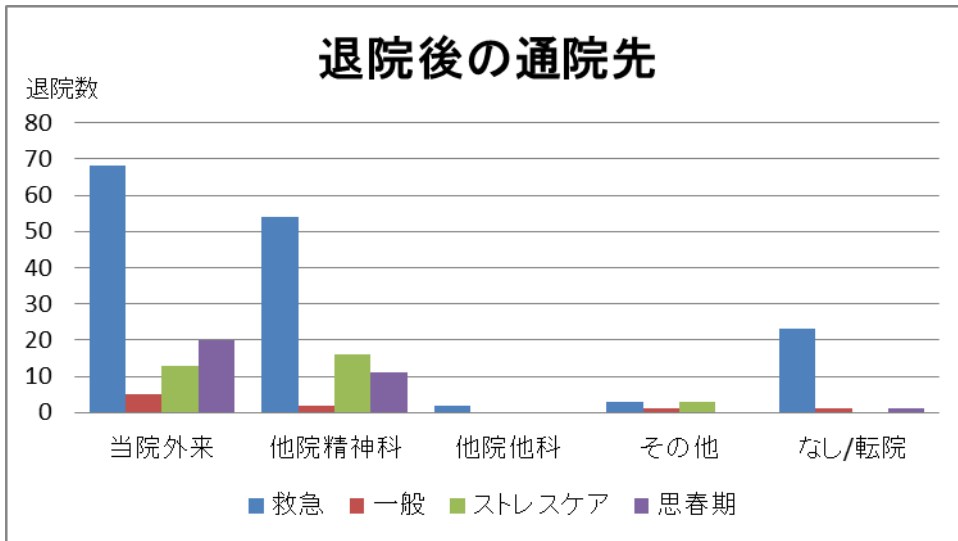
2016 年 4 月～9 月新規入院例

	救急病棟	一般病棟	ストレスケア病棟	思春期病棟	全体
入院数	247	23	63	51	384
退院数	150	9	32	32	223

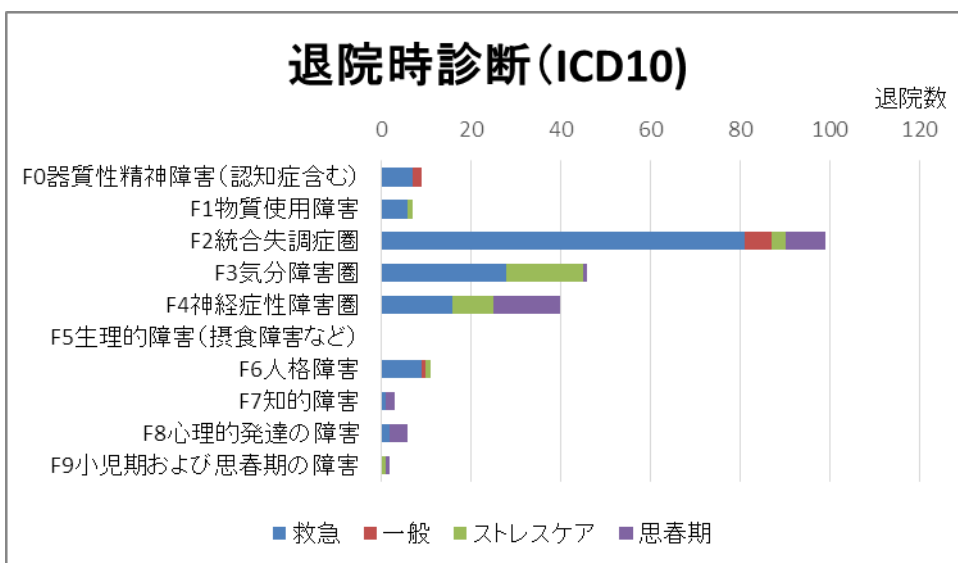
2016 年 4 月～9 月新規入院例



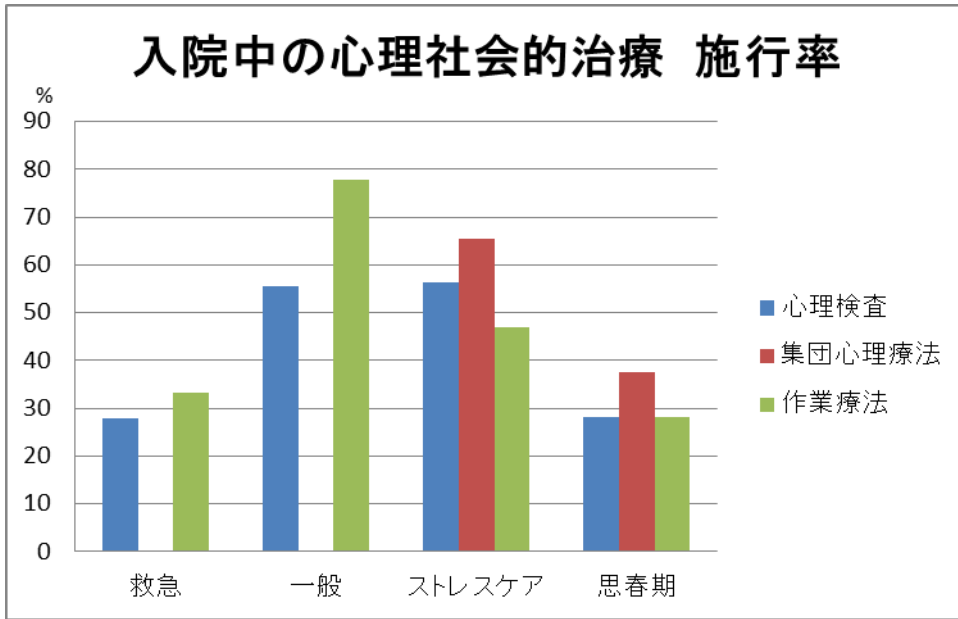
7 割近くが自宅退院している。転院例の多くは、神奈川県救急システムの後方移送である。



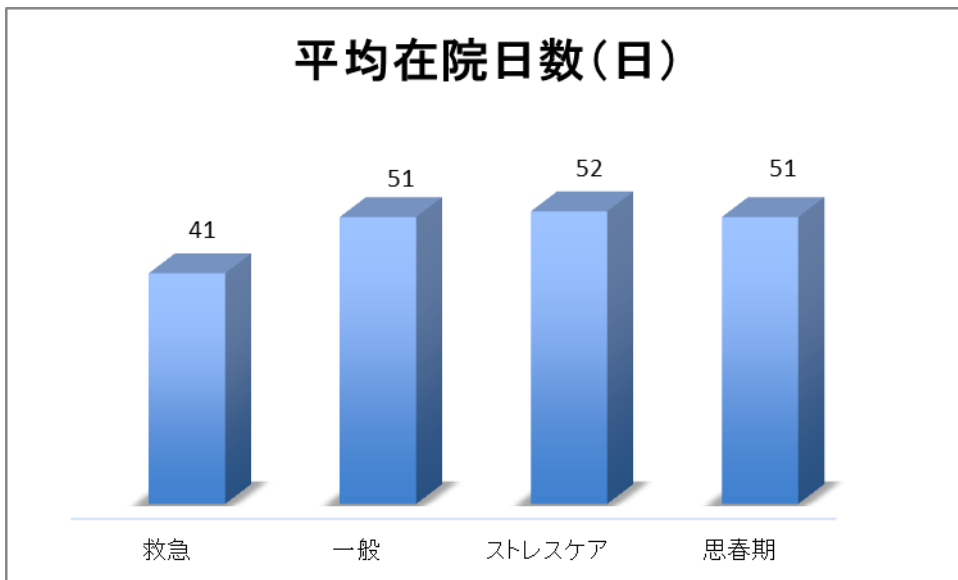
救急病棟、一般病棟、思春期病棟では、当院外来で治療継続するケースが最も多いが、ストレスケア病棟では紹介元の他院精神科に戻るケースのほうが多い。



救急病棟、一般病棟では F2 統合失調症圏が最も多い。ストレスケア病棟では、F3 気分障害圏が、思春期病棟では F4 神経症性障害圏が最も多い。

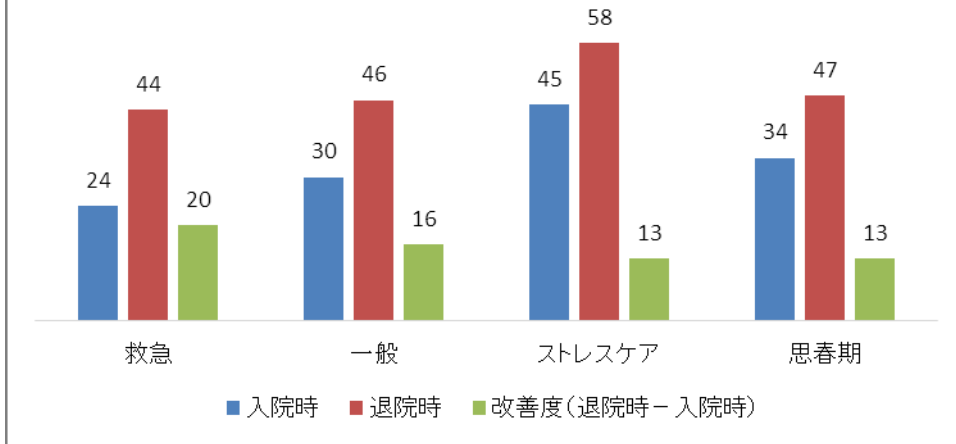


救急病棟では、急性期入院が多いため、薬物療法が主体となり、心理社会的治療の施行率は低い。一般病棟は心理検査、作業療法の施行率が高い。ストレスケア病棟、思春期病棟では集団心理療法も行われている。



退院者の平均在院日数は、救急病棟では41日、他病棟でも50余日である。従来と比べ、短縮化している。

GAF(機能の全体的評定)



GAF は、100 点満点で、数値が高いほど、心理社会的機能が高く重症度が低いことを意味する。

グラフではすべての病棟で GAF は改善している。

また、入院時 GAF が低い病棟ほど、改善度は高い傾向にあった。